2023年度・第3回未来会議（全体会）議事録

鹿ノ台未来まちづくり会議（未来会議）会長　須都　紘
副会長兼書記・広報　伊藤　智子

日時：　2023年6月18（日）13：30～15：35

場所：　西集会所

出席者（順不同、敬称略）：
須都　紘（会長）、黒部　實（副会長）、伊藤　智子（副会長・書記・広報）、
鎌田　卓（事務局長・会計）、平尾　英城、山田　勲、中世古　昭一、黒田　勝行、
渡辺　昇、田口　信義、中川　浩光、山田　修、
オブザーバー：　中尾節子
欠席：　三室　哲哉、山地　祐輔、蔵田　かほり

配布資料：
① 令和5年度第3回（6月度）未来会議（全体会＆分科会）議題（案）V
② 鹿ノ台中央公園をもっと楽しむためのワークショップ Day2プログラム
③ 鹿ノ台中央公園ワークショップ Day2（6月17日）発表まとめ
④ 令和5年度　鹿ノ台春まつり実行委員会体制（案）V2
⑤ 「鹿ノ台春まつり」第1回実行委員会打合せ
⑥ 独立電源通信システムの例（写真）…見守り・防災無線・街路灯・WiFi 等
⑦ 令和5年度「鹿ノ台校区体力つくり活動（歩こう会）」について
⑧ 生駒市コミバス『たけまる号』鹿ノ台線　実証運行　乗車実績（人数）R5.5月度
⑨ 生駒市コミバス『たけまる号』鹿ノ台線 実証運行実績 分析【令和5年5月度】
⑩ 生駒市コミュニティバス『たけまる号』鹿ノ台線　いそかわ協賛キャンペーン期間：12/26（月）～5/31（水）「いきいきホール前」（いそかわ前）乗車人数【5月度】
⑪ 鹿ノ台校区体力つくり活動（歩こう会）」実施コース案（4案）の地図

会長挨拶

・昨日、未来会議子育て分科会の主催で「鹿ノ台中央公園をもっと楽しむためのワークショップ」の2回目が開かれた。後ほど報告してもらう。
・生駒市が脱炭素先行地域に選定され、鹿ノ台も連携対象の自治会の一つとなっている。この件について連合役員会での話し合いの内容を共有していただく。
・自治連合会と自治会の今後の課題についても、5月・6月の連合役員会で議論されているので、これについても内容を共有していただき、この場でも議論したい。
・11月3日、4年ぶりに「歩こう会」を実施する方向で自治連合会が準備を進めている。未来会議で意見交換をして欲しいという要請があったため、本日の議題に挙げている。

子育て分科会報告

鹿ノ台中央公園をもっと楽しむためのワークショップ Day2：
・昨日6月17日（土）、3回シリーズのワークショップの第2回目を行った。参加人数は、一般参加者22名（うち未来会議メンバー4名）、スタッフ（子育て分科会メンバー）6名、生駒市みどり公園課2名、朝日新聞記者1名の合計31名だった。
・今回は、1回目（5月20日）でワークを行った4つのグループに新規参加者が加わり、グループ討論および中央公園へのフィールドワークを行った。
・前回のグループ発表の内容を、「特に実現したいことで実現可能性のあること」という視点からグループ毎に3～4つに絞り込んだ。その後、フィールドワークでイメージを膨らませ、より具体化されたアイデアをグループ発表した。
・結果、全体で合計16個にまでアイデアの絞り込みが行われた。次回のワークショップ（7月22日開催の最終回）では、これらをさらに精査して絞り込み、参加メンバーによる実現に向けて具体的な企画案を作成していきたい。

・各グループから出されたアイデア（合計16個）

◇イベント系：
－フリーマーケット：物々交換または販売
－↑その傍らでプールを持ち寄ってプール大会、水鉄砲遊び
－斜面にビニールシートを敷き、バケツで水を流してウォータースライダー
－寝袋で星空観察を行い、明け方にセミの羽化を観察
－鹿ノ台の各公園にクイズを設置する「クイズ大会」
－お月見会とキッチンカー
－雪を持ってきて「雪まつり」
－「防災キャンプ」（防災ベンチとのセット）

◇インフラ系・物の制作：
－グーグルサイトに子育て世代向けの情報サイトを立ち上げ、公園でのイベントの書き込み・閲覧を可能にする
－WiFi を設置して、子どもたちが公園に遊びに来るように仕向ける。災害時やイベントにも活用可
－小学校とコラボして公募などを行い、公園の見取り図をつくる
－鹿ノ台全体の公園案内（イベント案内も含める）を作成し、住宅展示場などでラックに展示・持ち帰りしてもらう
－立水栓に広めのシンクを設け、水鉄砲や水風船などの遊びができるようにする
－水分補給のため、災害時にも使える水・お茶に限定した自動販売機を景観を損なわない場所に設置
－防災ベンチを設置する（その後、前述の防災キャンプを実施）
－桜の植樹

支え合い委員会

活動紹介冊子の配布について：
・支え合い委員会の活動紹介冊子が完成した。来週末までに全戸配布する。
・支え合い委員会は、未来会議の高齢者分科会で構想され、その後、連合傘下の委員会となり、分科会メンバーも全員が委員となった。
・昨年10月にサポーター募集を行い、男性5名、女性4名になっていただいた。開始のめどが立ったため、冊子を配布した。内容は充実していると思う。
・鹿ノ台では高齢化が進み、いろいろな困りごとを抱えられている方が増えている。そうした方々が少しでも楽に暮らせるためにできることを考えた。
・身近で必要性の高い活動に絞り、提供できるサービスを冊子にまとめた。ご相談を連合自治会事務所にご連絡を頂くと、各担当者に連絡が入るようにしている（連合自治会事務所には連合会長から説明し、依頼済）。
・提供できるサービスは、家屋内の問題（電灯器具の交換、電球の交換、季節家電の交換）、および家屋外の問題（越境枝の剪定、不在時の鉢物植物の水遣り）などである。サポーターが増えてきたらサポート範囲も広げていきたい。
・ゴミ出しの支援については、相談が来た時点で担当者と当該自治会で相談させていただき、体制を整えていきたい。
・これらに加え、移動支援、法律相談、税務相談、女性相談、子育て相談などの窓口連絡先についても記載したので、保存版として活用していただきたい。

質問：　もうサービスは開始しているのか？
回答：　開始している。会員証や利用券も用意できている。

鹿ノ台春まつりについて

・5月の打合せの結果をお知らせする。広報担当リーダーは黒部さんが兼務することに変更した。各種の申請をお手伝いいただくサポーターとして、自治連合会の事務局長を昨年されていた小竹さんにお願いしたい。ご本人の了解は得ている。→承認した。
・名称は「鹿ノ台春まつり」に決定した。日程は、来年3月30日（土）とし、雨天の場合は翌日3月31日（日）に実施することとした。時間は午前11時～午後3時とした。出店は11時から、イベントは12時から行う。
・電源については、みどり公園課課長より、今年の年度末までには工事を終えるとの回答を得ている。
・音響の機器と操作については鹿ノ台自治会員の方に相談させていただく。
・子どもイベントは、子育て分科会が中心となって企画する。
・キッチンカーは、昼食になるような品目を中心に、3～5店の出店を9月頃に要望する。
・ソフトドリンクを安く提供するため、販売してくれる出店者を検討する。
・出演・出店・参加者の募集は、8月中旬に1度にすべての募集が行えるよう A3サイズのチラシを準備していく。
・撮影は IT 普及委員会（黒田さん）にお願いし、申請は小竹さんにお願いする。
・駐車場は、いきいきホールと中学校の駐車場（北・東）に出演者・出店者専用で用意する。

・春まつりの一環として、できればECOKAの協力を得て第6緑地の「桜回廊ツアー」（中央公園を終点とする）を実施したい。
・基本的には、中央公園のスペースと時間を区切って、それぞれの団体や個人にイベントを運営していただくという考え方だ。

生駒市脱炭素推進施策について

・生駒市が4月に「脱炭素先行地域」（100市町村）の1つに選定され、5年間で50億円（年間10億円）の補助金が付く。
・生駒市は特別会社を作り、ひかりが丘、萩の台、鹿ノ台など市内5つの自治会と連携して脱炭素に資する事業を展開していく。
・鹿ノ台に関係ある事業は2つある。1つは、いきいきホールに太陽光発電システムを設置する案である。もう1つは、EV（電気自動車）を校区ごとに配置するカーシェアリング・システムである。（EV カーシェアリング・システムを校区毎に配置。各個人への EV 助成は他の助成金を充当予定）
・連合自治会としては、さらに一歩進め、独立電源通信システムが導入できないか検討している。これは、自然エネルギー（太陽光・風力）と電灯・監視カメラ・WiFi・防災無線を兼ね備えた装置であり、大阪大学キャンパス、トヨタ自動車、NAIST（今後）などで実証実験が進められている。市の脱炭素補助金で、このシステムの太陽光パネル部分とバッテリー部分を賄えないか、市に相談している。

質問： 連合役員会の議事録に記載されている「準備検討委員会」とは、どの組織のことか。
回答： 山田修さんが未来会議で実施されてきた脱炭素勉強会や、1月に実施した生駒市の「脱炭素先行地域」説明会について話し合いを行ったことを指している。実際には今後、未来会議や連合役員会の有志に加えて公募を行い、10名程度の委員会を立ち上げたら良いと考えている。現在は市が特別会社の設立などに注力しており、自治会との話し合いは年度後半になるだろう。
回答： 本年度の市の予算は既に決定されており、公共施設やいきいきホールなどの自治会館などに太陽光発電システムを導入する予算はすでに計上されている。来年度以降の計画について生駒市に提案していくことは可能であり、そのような準備をしていく必要がある。市が自治会に求めていることは幅広く、未来会議の勉強会では対応しきれないので、新たに自治連合傘下にそのための組織を立ち上げる必要がある。
意見： ひかりが丘や萩の台では自治会が全面的にこの事業に関わっていくことを決めており、市との連携が先行している。鹿ノ台はその次の位置づけだが、鹿ノ台のニーズに合った提案を積極的に行っていきたい。
意見： 生駒市は、次の世代を担っていく若い方、女性にもぜひ関わって欲しいと考えている。また、生駒市民パワーへの電力契約の切り替えや支援が欲しいと思っている。例えば1月の市の説明会に参加した12名（うち7名が未来会議メンバー）など関心をお持ちの方に集まってもらい、どういう受け皿を作ったらいいのか、準備検討会のメンバーの公募の方法や仕事の内容等を議論してもらい、未来会議や連合役員会に提案してもらっても良いのではないか。

質問： 独立電源通信システムの話が出ているが、中央公園ワークショップでも中央公園にWiFiを設置するアイデアが出ていた。小学校の放課後の居場所として公園にWiFiがあると子どもたちが家に引きこもらないので良いという話だった。

意見： 今、いきいきホールを子どもに開放し、何人くらいの子どもたちが何のために WiFi を利用したかというデータを取って提案すれば、より実証的で説得力があるのではないか。

「鹿ノ台校区体力つくり活動（歩こう会）」について（意見交換）

・自治連合会では、令和元年以降実施してこなかった「歩こう会」を、今年11月3日（金）（文化の日）に実施する方向で準備を進めている。これは、鹿ノ台自治連合会の主催で、校区自治会もお誘いして実施するものである。
・以前はスポーツ公園からけいはんな公園までの約3kmを歩いていた。
・今回の実施案は以下の4案に絞られている；①校区一周コース、②鹿ノ台外周1週コース（3．6km・1時間強）、③鹿ノ台半周コース2．6km、④スポーツ公園で歩く前に30分の準備運動＋残った人に30～1時間の運動指導、その後キッチンカーなどで楽しんでいただく案である。
・④は生駒市の移動販売等支援事業を利用して、運動のインストラクターとキッチンカーの派遣を依頼する案である。
・5月20日に美鹿の台、鹿畑町、うぐいす谷と鹿ノ台の代表で打ち合わせを行ったところ、①については道路が狭い個所があり安全上問題があるとして、賛同が得られなかった。
・この打合せでは、①②③については、立哨に多くの人員が必要とされることへの懸念も表明された。
・自治連合会としては、①は実施しないと決定した。④の運動指導＋キッチンカーついては実施することを決定している。
・今日は、②と③のどちらかを実施するかどうか、実施するとすればどちらが良いか、ご意見をうかがいたい。
・頂いた意見は連合に持ち帰って検討させてもらう。単位自治会にも意見を聞いており、北3丁目自治会では、ベビーカーを押しても参加できる③半周コースと④が良いという意見があった。
・信号のある所は警備会社にお願いする予定である。
・これまで連合予算を拠出してきたお弁当は、配らないという方針が決定している。北地区自治連合会の体力づくり活動への補助金では、お弁当代は出せないが、水分補給（ボトル飲料）と運動補助食品（カロリーメイト等）、汗拭き（タオル）には予算が出せる。

意見： 高齢化が進んでいる中、長距離を歩くのが厳しい人にも外に出てもらうという点で、スポーツ公園での運動指導というのは良い案だと思う。以前が3㎞程度だったことを考えると②のコースは安全面で問題がないので、その位は歩いても良いのではないか。自主的に半周で終える方がいても良いと思う。

意見： 準備運動＋歩く時間＋キッチンカーを楽しむ時間をトータルで考えると③半周コースがいいのではないか。外周も自動車は両側通行なので、安全確保についてよく考える必要がある。
回答： 事前に鹿ノ台交番にも相談していきたい。ただし、これまでも光台や精華台などにご迷惑をおかけしてきたと思うので、鹿ノ台で我が町のイベントについて多少の不便は許容していただけるのではないかと考えている。

質問： けいはんな公園に行くことは検討されなかったのか。
回答： 令和4年度からの引き継ぎでは、すでに鹿ノ台内部で実施する計画になっていた。

意見： 東から北に上っていく外周の道はとてもきついので、迂回コースがあったら良いのではないか。

自治会・自治連合会の課題と活性化対応について

連合会長からの報告：
5月と6月の連合役員会でフリートークを行った。その間に須都（未来会議会長）、鎌田（未来会議事務局長）、田口（連合会長）の3人で議論をした。
・連合役員会の議論： 主に評議員のあり方と、自治会長のあり方という、2つの課題がある。高齢世帯のなかには評議員を辞退したいがために自治会を辞める方がいる。
・解決策として一部を外部委託したらどうかという話が出ている。あるいは、コンパクトな自治会にして、行事ごとにボランティアを募る、テーマごとに委員会を作る、担当委員＋ボランティアで対応するというアイデアも出ている。
・納涼祭は外部委託したら良いという意見があったので調べたが、現実的ではなかった。
・評議員の免除規定（自治会会則）は各自治会でバラバラなので、そこに思いやりや優しさという視点を入れて共通ルールを作ったらどうかと考え、各自治会の規定を集約する作業を行おうとしている。個別事情に配慮することを明示している自治会と、していない自治会があったものの、11自治会に大きな差はなかった。年齢規定は75歳と80歳の2パターンがあった。
・ゴミ集積所までゴミを持っていけるが、収集後の掃除ができない、草刈りや落ち葉の掃除ができないので、免除して欲しいという希望に対しては、自治会費は払ってもらうが作業を免除する「準自治会員」として受け入れたら良いのではないかという意見も出ている。
・現在の連合役員（自治会長11名＋連合会長）にも働いている方が多く、フリーに動けるのは4名である。また、これまでも連合役員経験者のなかから自治会活動をリードする人材が輩出されてきている。これらを考慮すると、自治会を東西南北の4つにまとめるなどのアイデアもあるが、当面は現在の11自治会の形を維持して、多くの方に関わっていただけるようにするのが良いのではないかと考える。
・各自治会の中で自治会を辞める人が増えることのないよう、活性化に向けてかじを切れる仕組みをつくりたい。

未来会議会長：　今後の連合役員会の議論を見守りつつ、協働できる部分では協働していきたいと思う。改めて議論する機会を設けたい。

連合会長：　未来会議と連合の定期的連絡会が有効に機能していないと感じるので、人数を絞り込んで複数回議論を行った方が良いのではないか。
未来会議会長：　その件については来月の未来会議幹事会で話し合う予定だ。

鹿ノ台コミバス月度乗車実績について（報告）

5月度の乗車実績：
・R5年5月の実証運行の日数は12日、乗車実績は累計569人、一日あたり平均47．4人である。60人を超えた日は1日、50人を超えた日は3日あった。激しい雨が降った29日は乗車が極めて少なかった。
・実証運行が始まった昨年8月から今年5月までの10カ月間では、運行日数が122日、利用者合計は5580人、1日あたり平均は45．7人と、前月までに比べて1日あたり0．1人増えている。収入は30％を超えており、本格運行を判断する市の基準はクリアしている。
・いそかわ協賛キャンペーン開始後、いきいきホール前（いそかわ前）での乗降人数は、それ以前の8．2人から増加して12．1人となった（48％増）。キャンペーン終了（5月末）の後、いそかわ本社にお礼のあいさつにうかがったところ、専務さんから実証運行期間の7月末までのキャンペーン延長をご提案頂き、6月19日～7月末までキャンペーンを再開・延期することになった。これまでの補助券も使用可能である。
・6月12日と14日、コミバスに乗って鹿ノ台オープンガーデンのユリを鑑賞するキャンペーン実施し、2日間で49名が参加された。実施日の乗車人数は、6月12日（雨天）で80人、14日（快晴）は65人と大幅に増加した。今後もご協力をお願いします。

次回

日時：　2023年7月16日（日）　13：30～16：30
　　第I部　　全体会　13：30～15：10
　　第II部　　分科会　15：15～16：30

「南北」の構成員および幹事は13：15集合

場所：　西集会所

以上